

総合的な学習の時間 学習指導案

日 時: 令和元年 10 月 15 日 (火) 6 桜時
児 童: 釧路市立鳥取西小学校 5 年 3 組
男子 18 名 女子 13 名 計 31 名
授業者: 藤原 真理子

1. 単元名 「釧路【食】プラン」

～釧路産食材を PR して、地産地消を呼びかけよう～

2. 単元の目標

釧路産食材の魅力を広めている団体の活動に触れ、保護者や地域の方に向けて釧路産食材の良さや地産地消の良さを発信できる。

3. 単元について

(1) 単元観

本単元は、社会科の学習の中での「給食に地元の食材が多く使われている」「こんなに多種の野菜が釧路で生産されているとは知らなかった」という児童の気づきをもとに探究活動が行われるよう計画した。「なぜ地元の食材を使うのか」「釧路市が地産地消を進める理由は何なのか」ということについて、地産地消の取り組みに携わる方の生の声を聞いたり、質問したりする過程で個々の関心が深まり、もっと知りたいという思いをもてるような場を設定していく。探究活動の中で釧路産の食材を食べることが健康に良く、エコである等の良さに気づき、興味を持った食材についてさらに探究活動を続けることで児童の見方や考え方を広がっていくと考える。

またプログラミングでアンケートを作成し、消費者側の釧路産食材に対する意識も情報として収集していく。釧路で生産されている食財、それを広めようとしている人財、身近な消費者の意識、それらの情報を整理する中で児童がそれぞれ自分にできることを探り、得意なことを活かしながら表現することを目指していく。

(2) 目指す児童の姿

自分達が住む釧路市の為に努力している方の存在を知り、釧路市に対する思いを聞くことで見方や考え方を広げ、釧路を大切に思う気持ちを育むことを目指す。さらに興味を持った食材の良さや PR 方法について、自ら課題を設定し、すでに持っている知識や体験と結び付けながら考え表現することで、「これまでの学びを生かすことができた」「自分の力で相手の心を動かせた」という達成感を得られると考える。学びの過程で得られた達成感は、次への原動力となり、教科横断的な意欲へつながることが期待できる。

4. 評価規準

知識・理解	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
ア、講師の話を聞いたり、自分なりに調べたりすることを通して地産地消の良さがわかる。 イ、保護者や地域の方を相手に、地産地消を広める為の自分なりの考えをもつ。	ア、地産地消の取り組みや消費者の意識に関する調査活動で得た情報から、事象を多面的に捉える。 イ、発信したい情報や自分の考えをまとめ、得意なことを活かしながら効果的に伝える。	ア、地産地消の良さを意欲的に見出そうとする。 イ、主体的に対象に関わり、地域参画の意識を高める。 ウ、釧路市民としての誇りをもち、ふるさとを大切にする心を育む。

5. 単元計画(全33時間)

次	過程	主な学習活動	教師のはたらきかけ◇ 評価☆
一 次 ⑬	【課題設定】 【情報収集】 【整理・分析】	<p>①社会科での産地マップ作りを想起し、釧路産の食材が多く使われていたことや釧路市で地産地消が進められていることに注目し、その理由について考え交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旬の食材は美味しいから。 生産者の方が頑張っているから。 私たちが食べないと釧路の生産者の方が作り続けられないからかなあ？ <p>②給食センターの方になぜ釧路産の食材を使っているのか等について聞き、地産地消の取り組みに興味を持つ。【8/22 佐藤さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確かに近場の方が輸送コストはかかるないね。 作っている人が分かると、分からぬよりは安心だね。 旬の食材は栄養豊富で、安くて美味しい、良いことが沢山あるね。 地産地消を進めているのは、給食センターだけなのかな？ <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">釧路市の地産地消の取り組みを調べよう。</p> <p>③④釧路市の範囲を知り、どこでどのようなものがとれているかについて情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路漁港でとれる魚を詳しく調べてみよう。 阿寒で生産されているモルト牛がおいしそうだったよ。 音別は菊芋、蕗、アイスクリームが特産品のようだね。 <p>⑤⑥釧路市のホームページ等から、地産地消に関わる取り組みについての情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月2日をパプリカの日として、市内の飲食店でパプリカ料理を提供していたそだよ。 クジラ肉を食べてもらう為のクジラ祭りが企画されていたよ。 予想していたより多くの活動がありそうだなあ。 <p>⑦⑧くしろ地産地消ネットワークの方の話を聞き、まさに今行われている地産地消の取り組みを知る。【9/19 日中井さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大楽毛にパプリカ工場があるんだね。パプリカで作ったソフトクリーム！？ オロナミンCは、音別の水を使って製造しているなんて初めて知ったよ！ エゾシカ被害額は全道で39億円！交通事故は釧路管内で年間498件！ <p>⑨⑩講師を招き鹿肉調理に取り組むことで、地産地消体験をする。 【10/2 加徳さん】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロの調理師さんに教わって、自分達で調理することができたよ！ 鹿肉で作ったメンチカツ、美味しいなあ！また食べたいなあ。 鉄分豊富で貧血予防になるなど、栄養素についても分かったよ。 お父さんやお母さん、大人の人達は地産地消の良さを知っているのかなあ？ <p>⑪⑫消費者(保護者)の意識を探るためのアンケートを作成し、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーで食材を選ぶ時の決め手は？価格 or 品質 or 安心感？ 釧路産の食材で食べたことのあるものは？ 釧路市で行われている地産地消の取り組みを知っていますか？ <p>～本時～</p> <p>⑬釧路産の多種多様な食材とそれを広めようとしている人、そしてアンケートから得た消費者の意識を比較・分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 50%の人はオロナミンCが釧路の水から作られていると知らなかつたよ。 中井さんが広めようとしていた地産地消…消費者に伝わっていないこともありそうだ。 調べてきた私達だからこそわかる、食材や地産地消の良さを伝えたいな。 	<p>◇給食だよりから、魚介類だけでなく、野菜や肉類も釧路産のものが使われていることに気づかせる。</p> <p>◇釧路産の食材や、地産地消への取り組みに关心が持てるような内容になるよう、講師の方と連携する。</p> <p>☆地産地消の良さを意欲的に見出そうとする。(発言・記述)【学びに向かう力、ア】</p> <p>◇釧路市の中に、阿寒や音別が含まれることを忘れている児童が多いことが予想される為、まず釧路市の範囲を、次に各地域での生産物を調べられるようにする。</p> <p>◇釧路市で行われている様々な取り組みを知ることで、地産地消への興味を高めていく。調べていく中で疑問に思ったことは書き留めて、質問できるように準備しておくよう促す。</p> <p>◇シカ肉やいわしの缶詰、パプリカ等、出来る範囲で実物を見せて意欲を喚起する。</p> <p>◇釧路産食材の良さを体験することで、知らない人にPRしたいという想いをもてるようする。</p> <p>☆講師の話を聞いたり、自分なりに調べたりすることを通して地産地消の良さがわかる。(発言・記述)【知識・理解、ア】</p> <p>◇kintoneを使ったタブレットでのアンケート作成スキルを身に付け、情報収集に役立てる。</p> <p>◇アプリ上で様々なグラフを見せながら、消費者の意識を分析できる環境を作る。</p> <p>☆地産地消の取り組みや消費者の意識に関する調査活動で得た情報から、事象を多面的に捉える。(発言・記述)【思考・判断・表現、ア】</p>

6. 本時について

(1) 本時の目標

アンケート結果から得た消費者の意識を整理し分析することで、自分達にできそうなことを考えることができる。

(2) 本時の展開 (13 / 33)

	○主な学習活動	・教師の主なはたらきかけ	☆評価規準(評価方法) ▲個に応じた指導
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○前時にアンケート結果を予想したことを想起し、一部の結果を見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">釧路産食材や地産地消の良さが伝わっているか、アンケート結果から分析しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想外の結果を見せ、他の結果も知りたくなるよう意欲を喚起する。 	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ○知りたいことを知るのに適したグラフの種類を知り、情報の分析に活かす。(2分) ○アンケート結果から分かることを、付箋で貼りながら座標軸に整理する。【 (15分) ○「伝わっていない、伝える必要性が高い」に注目し、アンケートを取った保護者に対して、自分達にできそうなことを考える。【個→ (5分→8分) ○他グループの考えを見て回り、相違点に触れ、さらに自分の考えを深める。(3分 →メモ2分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフ→変化を見る時に。(使わない) 棒グラフ→量を比較して見る時に。 ・横軸を「伝わっているか」縦軸を「伝える必要性」として情報を整理できるよう手本を見せる。 ・講師の「良い食材があつても、伝える人がいないと伝わらない」という言葉を思い出せるよう掲示物を使う。 ・学期末のプレゼンタイムを消費者に向けての発信の場にできることを伝え、見通しを持たせる。 ・授業者も一緒に見て回り、児童の考えが深まるようなアイデアを広めていく。 	<p>☆地産地消の取り組みや消費者の意識に関する調査活動で得た情報から、事象を多面的に捉える。(発言・記述)【思考・判断・表現】</p> <p>▲何も思いつかない児童がいた場合は、他の児童の考えを紹介しながら、イメージがわくよう支援する。</p>
終末 5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">あまり伝わっていない、釧路産食材や地産地消の良さを伝えていこう！</div> <ul style="list-style-type: none"> ○本時を振り返ることで自分の学びに気づく。 ○次時への見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この1時間でできしたことについて記述するよう促し、書くことが苦手な児童を支援する。 ・児童の夏休みの自由研究(北海道産食材で作るレシピ)を紹介する。 	

(3) 板書計画

